



News Release

2021年2月3日
株式会社日本政策投資銀行

住友金属鉱山（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 —最高ランクの格付を取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎明、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、天正18年（1590年）創業の非鉄メーカーで、「住友の事業精神に基づき、地球および社会との共存を図り、健全な企業活動を通じて社会への貢献とステークホルダーへの責任を果たし、より信頼される企業をめざします」とのグループ経営理念に則り、銅・金・ニッケル等の資源開発、製錬、また最先端技術を活用した機能性材料の開発・製造という、ものづくりの最上流工程から、人々の生活に欠かせない高機能材料まで、一貫した独自のビジネスを展開しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 非鉄金属の有効活用や材料事業の拡大が長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」の実現に向けた重要な成長領域であると位置づけ、廃LiBからのCu/Ni/Co回収技術の事業化に向けた実証試験や低炭素負荷製品の拡大等に注力し、資源確保から高機能材料を一貫して提供できる体制や技術力を競争価値の源泉として、環境課題の解決を通じた持続的な成長に取り組んでいる点
- (2) 鉱山開発等の事業活動により生態系サービスに与える影響や川上企業として要求されるサプライチェーン管理に鑑み、長期ビジョンの基盤となるリスク管理の観点も含めた11の重要課題を事業ライフサイクル全体の視点から特定し、「2030年のありたい姿」やKPIを設定してマネジメントしている点
- (3) CSR7部会による現場の議論を踏まえて、社長以下事業部門長・本社部室長が参加するCSR委員会において重要課題やありたい姿に関して議論するとともに、ハンドブックを全従業員へ配布してサステナビリティ経営の意義や計画の浸透を図る等、全社一丸となって取り組みを推進している点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの
弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展
を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的
に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

企業金融第1部 電話番号 03-3244-1680